

子宮頸がん予防ワクチン接種後の

運動障害症例一覧について

(平成25年10月1日～平成26年3月31日に報告された症例)

<抽出基準>

- 運動障害 (パーキンソニズムを含む)
- 協調運動および平衡障害
- 歩行障害
- ミオクローヌス、運動機能障害、筋力低下

<除外基準>

- 疼痛関連症例として検討する症例
- 血管迷走神経反射による失神に伴う痙攣
- 全身性痙攣発作 (四肢の痙攣は除外しない)
- 単発的・短期的 (一週間以内) な障害
- 明確な疼痛による可動性制限による運動障害
- 原因疾患が特定されているもの

分類基準

- A 接種の翌日までに症状が発現しているもの。
- B 接種の数週間後 (2 日以上、1 ヶ月未満) に主要な症状が発現しているもの。
- C 接種から1 ヶ月以上たって主要な症状が発現しているもの。
- Z 疾患概念が確立している疾患であり、これまでの医学的知見では接種以外の要因がより疑われるもの。
- X 情報が少なく判断ができない。

サ: サーバルックス ガ: ガーダシル

それぞれの後ろについている数字は症例リストにおける対応する症例の No.を示している。

No.	年齢	主たる副反応名	概要	発症まで	持続時間	分類案
1	17	サ6 歩行障害	3回目接種後連日頭痛。その後回転性めまい、右上肢痙攣、全身の痺れ、歩行障害。	0日	1年8ヶ月以上	A
2	15	サ2 両下肢が歩行時によろける	接種当日夜より左腕全体と下半身のしびれ、動きにくさ。	0日	1ヶ月以上	A
3	14	サ3 手、足の震え	3回目接種数週間後より手足の震え、胸部圧迫感、胸の震え。デパス、半夏厚朴湯を内服。軽快確認。	2週間程度	1年3ヶ月以上	B
4	15	サ7 筋力低下	接種1ヶ月後より左下肢のしびれ、筋力低下。リボトリール内服。	1ヶ月	1年10ヶ月以上	C
5	12	サ5 歩行困難	2回目接種から2ヶ月以上経過したのち頭痛、筋力低下、歩行困難。その後3回目も接種。	2ヶ月以上	10ヶ月以上	C
6	13	サ13 足のもつれ	3回目接種より3-4ヶ月後くらいに足のもつれ、ふらつき、動悸、耳鳴り。月経周期と連動している。	3-4ヶ月	不明	C
7	13	サ9 歩行障害	接種約一年後に易疲労感、歩行障害、下肢の違和感。リプル、リズムック、メインテート等を投与。	約1年	2年以上	C
8	14	サ11 片麻痺	2回目接種約1年後、片麻痺の症状出現。	約1年	不明	C
9	16	サ4 歩けない	3回目接種から1年半以上経過したのち四肢脱力。	1年半以上	不明	C
10	14	サ15 ふるえ	3回目接種より1年4ヶ月後にけいれん、ふるえ、頭痛が出現。	1年4ヶ月	不明	C
11	16	サ12 上下肢筋力低下	3回目接種より1年半後、左手の筋力低下、下肢の筋力低下出現。	1年半	半年以上	C
12	19	サ8 まひ	接種後体調が悪化。失神、まひ、めまい等出現。	不明	不明	X
13	14	サ10 急性小脳失調	接種後、急性小脳失調、眼振。	不明	不明	X
14	-	サ1 右上肢ジストニア様不随意運	接種後右上肢ジストニア様不随意運動が出現。	不明	不明	X
15	-	サ14 手の震え	接種後に手の震えがあったことを報道を見て思い出した。	当日	不明	X
16	13	サ16 筋力低下、脊髄空洞症	3回目接種3ヶ月後より筋力低下、歩行失調。MRIで脊髄空洞症が確認された。	3ヶ月	3ヶ月以上	Z